

## 令和2年度 第1回京丹後市図書館協議会 会議録

- 1 開催日時 令和2年12月17日(木) 午前10時～午前11時45分
- 2 開催場所 京丹後市役所 大宮庁舎4階 第2・3会議室
- 3 出席者 村上弘樹委員(会長)、松岡豊美委員(副会長)、増田明子委員、寺田裕美子委員、東恵美子委員、下岡道代委員、味田佳子委員、東哲委員、山形元子委員、日野竹夫委員

(事務局) 吉岡教育委員会教育長、横島教育委員会教育次長、引野生涯学習課課長、坪倉生涯学習課課長補佐、亀田図書館長、田辺主任

(欠席) なし

### 4 議題

説明・報告、協議事項

- (1) 図書館協議会委員の職務について
- (2) 令和元年度市立図書館の利用状況について
- (3) 令和2年度市立図書館事業計画及び実施状況について
- (4) 今後の図書館運営について

### 5 公開又は非公開の別

公開

### 6 傍聴人の人数

0人

《 議事経緯 》

- 図書館協議会委員の任命通知交付  
【吉岡教育長より任命通知書交付】

事務局 皆様おはようございます。本日は大変お忙しい中、また足元が悪い中、お集まりいただきましてありがとうございます。

会議の開催に先立ちまして、委員の皆様方へ任命通知書の交付を行わせていただきたいと思っております。時間の都合上、代表でお一人にお受け取りいただきたいという風に思います。増田委員様、前の方にお進み頂きますようよろしくお願いいたします。

事務局 はい、ありがとうございました。他の委員の皆様につきましては、机の上の方に任命通知書を置かせていただいておりますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

## ● 開 会

事務局 それでは、ただいまから第1回京丹後市図書館協議会を開会いたします。開会にあたりまして、京丹後市教育委員会吉岡教育長よりご挨拶を申し上げます。

## ● 挨 拶

教育長 皆様おはようございます。天気予報では雪が降るといわれていましたが、こんな大雪になるとは思いませんでした。見ていただいたように大宮でもたくさん降っていて、昨日一昨日と通勤もちょっと大変だったんですが、そんな中ですが、皆さんも今日は足元が悪い中お越しいただきましてありがとうございます。来られるのに少し苦労された方もおられたんじゃないかなと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

先ほど、お世話になります皆さんを代表していただき増田様に任命通知書を交付させていただきました。大変失礼だとは思いますが、今ありました通り、増田様以外の方には机上配付させていただいております事、また任命の日付が5月6日に遡っております事に加え、ご挨拶が遅れました事、改めてどうぞよろしくお願いいたします。また後ほど会長・副会長の選出もお願いしておりますが、よろしくお願いいたします。

今年も残りわずかとなりました。本日は、第1回目となります会議にお集まりいただいた事になります。今年を振り返りますと、日本だけでなく世界中にコロナが広まった年となりまして、本市の教育政策におきましても、学校教育・社会教育の両面において、夏頃までは行事を延期や中止としておりましたし、再開後も感染予防対策を徹底しながら実施してきました。ICTやグローバル化が急速に進行しておりますし、先行きが不透明な難しい社会となっている中、コロナのよ

うな予測の出来ない事象が発生しますと、たちまち私達の生活に大きな変化をもたらし、人の心の部分にも影響が出てきていると思っています。そのような中ですので、人を育み生きがいをもたらす社会教育の重要性が、ますます重要になっていると感じています。さて、長いこと丹後庁舎で仮運営をしていました丹後図書館が10月30日にリニューアルオープンしました。皆様の中にも、オープニングセレモニー等に参加いただいた方もおられると思います。開館後ご利用いただいている方もおられると思いますし、海に見える図書館として大変評価を頂いています。利用者も増えているというふうに聞いております。先日も丹後町に行くことがありましたので、様子を見に行き、職員の方と少しお話もさせていただいたのですが、テスト週間には中学生が勉強に来てくれているという話も聞きまして、大変喜んでいるところとす。一層の利用が増えることを願っているところとすし、これも皆さん方にいろいろご協力いただき、整備に関わっていただき、お力添えを頂いたおかげだと思っています。厚く御礼申し上げます。今後も、学び、生きがいを求めるための拠点となる施設として、また地域の皆さんに、いつまでも愛され親しまれる図書館となりますよう努力して参りたいと、そのように考えておりますので、今後どうぞよろしく願いいたします。

本日の会議では、報告事項と今後の図書館について、協議をいただく事としております。お世話になりますが、どうぞよろしく願いいたします。

事務局 続きまして委員の皆様の紹介と職員の紹介に移りたいと思います。自己紹介という形でお世話になりますが、委員様から順番にお願いできますでしょうか。

#### 【委員・事務局の順に自己紹介】

事務局 ありがとうございます。それでは、議事の方に移らせていただきたいと思えます。役員の選出につきましては、引き続き事務局の方で進めさせていただきたいと思えます。役員の選出につきましては、この後また説明させていただきますが、市の図書館条例、施行規則の中で、委員の互選により、会長と副会長を置くということになっております。まず立候補がございましたらと思えますが、いかがでしょうか、と言ってもないかなと思えますので、お許しをいただけるようでしたら、事務局の方から提案をさせていただくという形でよろしいでしょうか。

はい、ありがとうございます。そうでしたら、私の方から提案をさせていただきます。会長につきましては、前期に引き続きまして弥栄町の村上委員様にお世話になれたらと思えますし、副会長につきましては網野町の松岡委員様にということで提案をさせていただきます。

皆様いかがでしょうか。ありがとうございます。盛大な拍手と異議なしという言葉頂きましたので会長に村上委員、副会長に松岡委員ということで大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

そうでしたら、この後の議事につきましては、これも規則の方で、会長が議長になるというふうになっておりますので、村上会長様の方からご挨拶をいただきまして、そのまま議事進行の方お世話になりたいと思います。よろしくお願いいたします。

会 長 失礼します。ただいま、ご指名をいただきまして、また会長というような形で、私のような者が、このような席で進行させていただく事が、不十分かなと思いますが、委員の皆様方また事務局の皆様方のご協力をいただきまして、なんとか果たせていけたらというふうに思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。さきほど教育長様のお話の中にもありましたが、今年コロナ禍の中にありまして私たちの生活様式というのがグッと変わって、6月頃からまた緩やかになったかと思っておりますが、今非常に緊迫した状況が、毎日ニュースでも流れております。このコロナ禍の中で、私たちの生活様式はもう必ず変えていかなければならないし、変わっていくであろうというこういう中では、この図書館協議会の中では、これまでの図書館運営とかというものはまた違った視点で、新たな運営の形がまた発見されていくのではないかと、またご意見が頂けるのではないかなと思いつつ、今日も来させていただきました。よく不易と流行と言うなことが言われますけども、やはりスマホやパソコンがこう発展して、いろんな時代の流れというのがあるわけですけども、その中でも不易変わらないものの考え方、先ほど委員の方もおっしゃられましたですけども、文字を見て考える、頭の中でやっぱり考えていく構想をするということには、大きな力があるのではないかなというようなことも思います。先ほどありましたが、久美浜図書室、丹後図書室が運営されて、いい方向で地域のセンターのような役目も果たしてきているというふうに伺いました。本当にそういう意味では、発想の転換もしながら、この図書館のよりよい地域での位置づけと言いますか、そういう教育活動の場になっていけばいいなと思っておりますので、どうか皆様方の良いご意見をたくさん出していただきまして、私はもう全然そういうようなイメージが乏しいものですから、助けていただいて任務を果たしていけたらと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

● 説明・報告事項

会 長        それでは、早速ですけども、6の説明報告事項の方に入らせていただきたいと思います。 (1) の図書館協議会委員の職務について、資料1から7に関わりまして関連をして説明の方、事務局の方からよろしく願いいたします。

**【(1) 図書館協議会委員の職務について 資料1～7の説明】**

会 長        それでは、今、説明をして頂きました資料1から7に関わりまして、ご質問等ありましたら、いかがでしょうか。

               そうでしたら、資料の説明が続くようですので、また関連もあるかも分かりませんので急ぐようですが、(2) の令和元年度市立図書館の利用状況について、資料8、9についての説明を進めて頂きながら、また後で意見交流という形でさせてもらえたらと思います。よろしいでしょうか。では、よろしく願いいたします。

**【(2) 令和元年度市立図書館の利用状況について 資料8・9の説明】**

会 長        ありがとうございます。ただいま、図書館の利用状況についてということで、8、9の資料の説明をしていただきました。何かご意見とかご質問とかございましたら、お願いできたらと思いますが、いかがでしょうか。

               はい、そうでしたら、先ほどのような形で、先に進めさせて頂いて、次の3番で一応資料の説明が終わると思いますので、その後またご意見等いただけたらと思います。次にすすめさせていただいてよろしいでしょうか。

               では、(3) 令和2年度市立図書館事業計画及び実施状況についてということで、資料10から13についての説明をよろしく願いいたします。

**【(3) 令和2年度市立図書館事業計画及び実施状況について 資料10～13の説明】**

会 長        ありがとうございます。それでは説明報告事項につきまして、説明もしていただきました。ここで全部(1)、(2)、(3)も合わせて、何かご意見とかご質問とかありましたらお出しただいて、はかっていきたいというふうに思いますが、いかがでしょうか。どちらからでも結構です。関連をしての内容ですとか、どんなことでもお出しただいたらと思いますが、いかがですか。

委員　　すごく緻密に分析してもらい、どんな変化があるか分析していただいて大変ありがたいと思ってます。ちょっと教えて欲しい事があるんですけども、一つは図書ですね、来られた人のいろんな声というか、ボトムアップと言うか、こういう本が欲しいなとか、気持ちとしては皆持っておられると思うんですけども、選定作業との関係があると思うんですが、ちょっとその辺がどういう風な格好で、色々新しい本を購入するのか、入れていただけるかというふうなことがね、ちょっと関心事なんです。私も時間があつたら図書館行くんですけど、やっぱりどうしても、同じ分野のどこを見るんですけど、その中で、こういうことがちょっと疑問やし情報がまとまった形のものがないかいなという時に、なかなか更新が分からないということがございまして、それぞれの分野ごと、関心事によって、久美浜の方であれば地域づくりとかそういうことでいろんなことを生かして行こうというふうな、この頃鬼滅の刃ということで何百人も来るといようなことにもなっていて、地域の財産とかそういうものを掘り下げて勉強したり、そういうコーナーがあつたらいいなあとかいう声があるんですよ。そういうふうなことを、どのような格好で、図書の選定作業がされているのかという風なことが関心事なんです、教えていただけたらありがたいです。

会長　　今の、図書の選定についてという内容のご意見いただきました。関連して他の委員さんで、この件についてございますか。では、お願いします。

事務局　　はい、ありがとうございます。図書の選定についてということですが、市立図書館の資料収集方針を持った上で選定はしております。ですが、今現状としてしましては、それぞれの図書館・図書室でまず選定をしてという形をとっております。その中には、それぞれの館・室で、今どんな本を求められているかということも、それぞれの職員が判断をして選定していますし、あとリクエストという形で、この本を入れてほしいということを受けてもしています。予算のこともありますのでリクエスト全てということではないのですが、今その本は市立図書館として購入できるものかという判断を全体でしながら、リクエストについてもお応えさせて頂いております。なかなか専門書的なものになりますと、購入し難い部分もありまして、そういったものは府立図書館であるとか、あと府内の図書館、最近ですと大学図書館の本を借りる事が数校できるようになっています。そういった中にある、蔵書として持っているものをお借りしてという形で提供させて頂いております。

委員　　そういう意味では、図書館の今そこにおられる職員の方が判断するということがあると思うので、そここの力量がものすごく大きいと思うんですよ。今は、司書の方が20名のうち資格を持っておられるのか何名なのか、十分に研修の機会とか、情報を得る機会を研修していただいて、地域のニーズとか時代のニーズ

とかいうふうな部分を先読みしながら、やっぱり住民の意識とかそういうものも高まったり、いわゆる誇りを持つ人材業とか、地域を担っていく人材の育成というか、大きく京丹後市の今後を発展させていく上で、どういうふうなことが大事だという広い視野と専門的なことと総合したことを育成してほしいなと言うような、ちょっと生意気なことを言ってあれですけど、そんなことを思います。

事務局　　すいません。図書の選定については、以前から現在の形について課題もあるというふうに認識しております。選定の仕方も含めて、改善できるところはしていかなければならないなと思いますし、今言っていました、職員の育成ということですね、本当に課題のことだと思っておりますので、今後また育成についても力も入れていきたいと思っております。ありがとうございます。

教育長　　今の図書館の図書の選定なんですけど、図書館の職員だけでしている。外部の人も、この委員の人達とかそういう意見もいただいてもいいか分らんね。常にではなくていいので。全然分野が違うんだけど、例えば、文化会館で行事をする時は、そういう外部の委員さんなんかにもどんな行事をしてほしいですかとかと聞くんで、図書館にどんな本が欲しいですかっていうことを、ちょっと外部の人たちからも意見をもらうような場があってもいいかなと思って。

委員　　丹後図書室が本当に綺麗にさせていただいて、地域の方も喜んでおられるんですけども、その地域の方がおっしゃる中に、本がたくさんあるのだけでも、やっぱり以前のものが多くて、新刊の図書が少ないというお話も聞かせていただいています。地域の人によっては、そのやっぱりあの科学的な本とかそういう声も聞かせてもらっていますので、新しいものをできるだけ、また入れてもらえたらありがたいって言うのを聞いています。それと、あそこは3階という場所なので、土日になると親子さんで本を借りに来られるんですけども、夕方や遅い時間になると図書館職員一人という体制になるんですかね。今は、二人体制というか補助の方が来とられるようなんですけども、図書館職員一人という体制になると、ちょっと安全面で心配になると言うのも聞かせていただいています。検討してもらえたらありがたいです。

委員　　図書の選定については、あみの図書館がスタートした何年間は、図書選定委員というのを何人かお願いしてまして、毎月どんな本買ったらいいかということを出してもらって、それに基づいて購入したこともあります。あと、利用者からのリクエストに応じても買っています。その選定委員の選定っていうのもなかなか難しいかと思うんですけども、どうしてもその職員だけの選定になってしまうようにということで、それを取り組んだことがあります。

委員 すいません。丹後図書室とっても素晴らしくってオープンの時やら、それからその一週間後にも行かせてもらいました。孫を連れて行ったらね、孫がみんなこのガラスのところ本がいっぱい見えるので、広いと感じて言ったのか、見える本は全部読める本だっていう思いなのか、もう早速本屋さんが始まりました。2歳の子ですけど、もう本が大好きで、これみんな私読んでいいのって言って。広いですし、さっき言われたように一人ではちょっと大変だなあと思いました。日曜日行った時は大勢だったです。それから今ちょっと、この写真を見ました。オープンの際は感じなかったんですけど、防犯だとかそれからけがのないようにとかいう面では、この職員さんがおられるカウンターを、今写真を撮ってもらった方にカウンターを設置できないかなと、ふと今思ったんですけど。少しでも一人ではちょっと無理ですけど、そうだとすると通路の所の展示物も、それから外側に閲覧したり座って本を読んだり外眺めたりする人たちのこともちらっと見えるなど思ったり、ちょっと、そんなこと思いました。検討ください。

会長 はい、ありがとうございます。ただいまの丹後図書室の方の、環境整備、安全管理と言いますか、そういうあたりに関係しても、ちょっとご意見を頂いておりますが、何か検討されていることがありましたら。

事務局 ご意見ありがとうございます。職員体制については、今はちょっと忙しい時間帯については二人ということでもさせてもらっています。今後様子を見まして、来年度の体制については考えていきたいと思っています。いずれにしても、たくさんの職員の配置はなかなか難しいので、防犯カメラなんかも実は3ヶ所に設置してまして、職員がチェックできるようなこともさせてもらっています。なるべく少ない人数ですけども、できるような事は考えていきたいと思っています。なかなかレイアウトの変更は難しいかもわかりませんが、状況を見ながら、できる対応はしていく必要があるかなと思います。また選書のことだとか、新しい本がというご意見もありまして、確かに私も直接聞かせてもらったこともありました。予算を伴うんですけども、この1、2年は新しい図書室の整備もありまして少し図書の購入費用が減っていたんです。来年は、どんと復活するように考えて行きたいなと思っています。議会でもそういうような質問もありまして、やっぱり資料が大事だろうということで、ハードも大事なんですけども、職員も大事なんですけども、充実した資料がということで、そこは頑張っていきたいと思っています。

会長 はい、ありがとうございます。ちょっと、私から聞いてみるんですけども、その購入図書の割合で、児童書・絵本とかが多いのか、その専門書とか歴史とか文学とかもあると思うんですけど、そういうような大体のバランスというのは、こう今までから検討されてきているのか、先ほど利用者の増えている傾向で見る



と、絵本と30歳の利用者が多いので、何かその辺が充実しているのかなという予想をしてしまうんですけど、何か傾向があったら教えていただきたいと思うんです。

事務局 図書館年報の方にも、各館の蔵書の割合を示させて頂いているんですが、やはりどことも一番多いものは文学小説的なものが多くなっておりまして。借りて頂く本自体も、やっぱり小説なり文学的なものが多いということもありますが、それぞれの割合を見ながらというのも選書の一つの方法としてとらせてはもらっているんですが、専門書となると、なかなか多くの利用が望めないというものは、やはり、他の専門のところへ求めていくという形をとらせてもらっています。児童書もちろん、絵本についても割合として多くなっているのは事実としてあります。

会長 ありがとうございます。その他、ただいま説明をしていただきました中で、今ご意見いただいているわけですが、その他の所でもどうぞ。

委員 図書館の件については、私も一度行かせていただいたんですが、海が見えるって言うんですけど、窓ガラスがとっても汚れていたのが残念だと思いました。それで職員さんにお尋ねしましたら、掃除はするんですけど、海が近いのですぐ汚れてしまうんですと言っておられたので、汚れのつかないガラスみたいなものも、ちょっと調べましたら、そういう窓もあるようですので、どんと予算が増えたあかつきには、そういうのも考えていただけたら。売りなので、そうすればもっと来られるんじゃないかなと思ったのと、全体の事なんですけど、先ほど特に説明はなかったのですが、こういう計画におけるその成果と課題と事業計画の関係性について、ここにある成果は結果であって、成果じゃないなと思って見ていました。成果っていうのはやっぱり目標があって、それにどれだけ近づいたかとかそういうものが成果になってくると思うので、何々をしましたというのは、結果であって成果ではないなと思って見ていました。そういう意味では、今とっても緻密な分析をしてもらったと委員がおっしゃいましたけども、蔵書の数ですとか来館者の数みたいな所をしっかりと分析をしていただいているので、そこからどういう課題や新たな目標をどういう風に設定するのか、それに向かってどんな事業をするのかということが見えてくるといいなと思いました。最初に会長が、発想の転換の時期だっていう風におっしゃいましたので、このタイミングにちょっと攻めた運営みたいなものもしていただけるといいかなと思っています。なかなか今年はコロナもありまして、目新しいことは特にやりづらいと思うんですが、毎年毎年同じ事をしていて、毎年同じ課題が出ているようでは、これなかなか成果上がらないと思うので、しっかりと実情から課題を分析して、それに対応するよう

な事業というものを攻めた感じで運営をしていただけるといいなあというふうに思っちゃって、全体を見させていただきました。

会 長        ありがとうございます。7番の今後の図書館運営についてというあたりについても、今もご意見を頂いているようですので、合わせてどのような事でもご意見いただけたらと思います。ただ今の委員のご意見について特にありませんか。

事務局        ありがとうございます。貴重なご意見いただきました。一つ一つをお答えしていたら時間がなくなっているんですけども、本当にその通りだと思っておりまして、今後またこの計画に基づいたデータ進捗状況も報告させてもらって、今後どういった事をすべきかといったあたりもまた提起もさせてもらえたらと思いますので、そういう視点でまた今後検討していきたいと思います。

教育長        計画の点検も必要なので、会議の開催する時期とかそういうことも考えてもらって、それを評価して活かせるように、していかなければならないことはしていかなければいけないと思いますね。それともう一つ、来館者の関係、せっかく増えているという事がこれではわからないんです。何か表示する必要があるかなと思う。貸出数だけがこうやってデータが出ているので、来館してもらうこともすごい大きな意味があると思うので、そこもデータをとる時に工夫をして欲しいと思いますね。

委 員        今、いい意見が出てほっとしました。あのねやっぱり、このままではいけないんです。中央図書館という目標があります。そこに近づくにはどうしたらいいのかを考えないと、いつまでもぐるぐると、ああ冊数が少ないだなんだとわけのわからない、申し訳ない会議になると思います。だから中央図書館にするには、どういう手立てをしてどう進むのか、それにはやっぱり市民を動かさなければだめだっていうことを私のような力のない者が思っているんです。本当に早いうちに手を打たない限り、この京丹後市は限界集落と進んで、人口もどんどん減ってもうどうにもならない、それでは遅いんです。だから、ずっとイライラしながら見えています。見るくらいしかできません。それともう一つ、丹後図書室の資料ですが専門書大変少ない、どこの館も少ないと思います。それは黙っていても予算がないからできないでなくて、予算をどう確保するか、どっかからもらってくるのか、その動きをしない限りぜったいによくなりません。やっぱり先ほど委員が言われたように、この地域をよくしよう、活性化しようと思うんだったら、そういう全体の動きを作らない限りよくなりません。ここの委員だとか役員だけで解決できないと思います。それにはこの市だけじゃなく他の皆さんに訴えていかない限りどうにもならないんです。そういった動きがしたくて、私どうしたらいいのかわからなくて、方法がわからないので、言ってもらったら動きたいんです。

人生だいぶん来ましたから、なんとかこの街を良くして、次の者に譲りたいというのがすごい背中にあるんです。娘が帰ってきた時にどうしたらいいんだろうと聞くと、丹後図書室も私設の業者と組んで、例えばコーヒーコーナーを作って、そしてみんなでお金はもちろんの飲む人が出す、運営したその収益で本を増やすとか、そういうことも考えなあかんよ、と言って帰ったので、確かにそうだ収益得らないとあかん、市にばかりお願いしとっても、だめだ。私たち市民1人1人がなんとか良い方法を生み出す、方法を考えていかなければいけないということを痛切に思います。娘たちは東京にいますが、本をしょっちゅう借りて読んでいます。それで、こうなってるよああなっているよという情報は入るんですけど、私みたいな田舎人間は何もかもキョロキョロで先に行きませんので、皆さん本当にそうしないと変わりませんし、もう限界集落の真ん前でいろいろ終わってから、さあどうしようでは遅いんです。今動かないと駄目だと思います。

会 長       ありがとうございます。

委 員       すいません。ずっと私思っていたんですけど、いつも予算組ってね、今も委員がおっしゃったけど、引っ張ってくるとかそういうお話もよく出ます。でも、市民を巻いていくいくというのは大事なことで、事業所から購入したいので寄付を募るとかそういう方法を、ちょっと一般市民に向けてでもいいですし、事業所が幸いにも市内に随分ありますので、そういうところをお願いして、ここから寄付して頂いたっていう表示も必要でしょうし、本や雑誌で寄附を募ることも大事でしょうし、市民を巻いてくっての大事な事じゃないかなと。委員の意見もそうですし、私も思っております。

会 長       はい、ありがとうございました。その他委員の皆さんでご意見とかありませんでしょうか。今後、こういうふうにと言いますか前向きなご意見でも大変ありがたいと思います。その他、特にございませんでしょうか。そうでしたらね、今たくさんのご意見を頂きました。また、事務局の方でも整理をして頂いて、今後の実際の図書館運営、推進に向けて活かしていただけたらと思いますし、先ほどの委員のお話の中にもありましたが、市の広報の方にも広告が入るようになっております。今それを、ふっと思い出しました。こういう視点があるのかなと感じましたし、色々な本当に視点がまた生まれてくる、そういう動きが出てきている現実もあるんじゃないかなと、今ふと思いました。また、今後活かしていただけたらと思います。

          そうでしたら、特にご意見ないようでしたら、以上での協議の方も終わらせていただいて、その他の方でありましたら。

          そうでしたら、以上で協議の方を終了させて頂いて、事務局の方にお返しをしたいと思っております。よろしく申し上げます。

## ● 閉 会

事務局      はい、会長どうもありがとうございました。また委員の皆様には貴重なご意見をたくさん今日いただきました。今後の図書館運営に役立てていきたいと思ひますし、また整理しまして次の協議会でさらに深く議論ができるような事もさせてもらえたらなというふうに思ひます。

それでは閉会にあたりまして、松岡副会長様からご挨拶をいただきたいと思ひます。お願ひします。

副会長      このような大事な役にご指名頂きまして、本当にお役に立てるかどうかが迷惑をおかけしないようにしないといけないなと思ひて、気持ちも引き締めてるところです。図書館を退職して、もう9年になりました。あつという間の9年で、もう死ぬほど本を読むつもりだったんですけど、なかなか本も読めず、やりたいことがいっぱいありますが、社会教育の方での学校支援ボランティアで学校の方に読み聞かせと言うか昔話を語りに行っています。図書館には11年おりました、あみの図書館のオープンの準備の段階から11年おりました。退職してからの9年も、その11年も、本当に充実した楽しい時間だったんですけども、あつという間でした。かっこよくさつと駆け抜けたら良かったんですけど、重たい体でドタバタとこけたり起きたりこけたり起きたりの11年だったなと思ひうんですけども、その中で図書館については統合だとか指定管理だとか、なんかそんな言葉にびくびくしながらいたなあと思ひます。それでも今この人口で六つの図書室があるということは本当に素晴らしいことで、京都府内でも本当になくと思ひますし、この広範囲の地域ですので隅々まで行き渡るように、この施設があるということとはとても意義深いことだと思ひています。京都府の中でも本当にそう思ひますし、全国を全部見たわけではありませんが、人口割にしたら素晴らしい地域だと思ひます。あと図書館の方から、また社会教育の方から手立てして、読み聞かせとかの授業を広めている続けているという事も、とても意義深いことだと思ひます。あと学校、保育所に向けて団体貸出しで子供たちに手元に本がある、側に読みたい本があるっていう状況を作るっていうことも、もうそれもなかなかあまりない事業ではないかと離れてみて改めて思ひます。その中で次はいいご意見もたくさん出たんですけども、まずその図書館施設も大事なんですけれども、魅力のある新鮮な資料が大事だということは、もうそれはどこに行ってもそうなので、本当にどうしたらそれが実現できるかということで、市民やら事業所に働きかけるというご意見も出ましたし、なんとかそれを実現できるように、あの図書館におりましたので予算の確保の難しさもなかなか難しいことだと思ひうんですけども、何とかできないかなと思ひます。あともう一つ、施設はできましたし、私が在職

中にはもう本当に夢であった久美浜図書室・丹後図書室が本当に人口の少ないところで素晴らしい施設ができたという事もすごい事だなと思って、その「図書館のあり方」の答申に基づいて、一つ実現できたなと思って感慨深いものがあります。図書館協議会の中で、何か一つこんなことをやってみようかということができたらいいなと、ご意見を伺いながら思いました。久美浜もできましたし、綺麗になりましたし、丹後もできましたので、次が中央図書館という事でそれに向かって職員のなかでもそうですし、協議会の中でも色々な手立てが話し合えたら本当にうれしいかなと思いました。微力ですけれどもご迷惑をかけないように頑張りたいと思います。次回の協議会はいつか分かりませんが、どうぞよろしくお願いいたします。今日は足元の悪い中、皆さんとてもお疲れ様でした、ありがとうございました。

事務局        はい、皆様ありがとうございました。それでは以上をもちまして、第1回目の図書館協議会閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。